

# 目次

口 絵

刊行のことば

上田市誌刊行会長

上田市長 平尾 哲 男

監修のことば

東京大学名誉教授・前国立歴史民俗博物館長 石井 進

まえがき

凡 例

地 図

はじめに……………1

民俗とは 伝承の相互関連 民俗の風土と歴史的背景 民俗編の編さんの意義 分冊の位置づけ

## 第一章 社会生活

第一節 ムラやマチの暮らし……………5

一 ムラやマチができた言い伝え……………5

(1) ムラやマチができた言い伝え……………5

移住 古くからあるムラ 城下町としてできたマチ 落人のムラ 信越線の開通によるものほか

二 最初に住み着いた家……………11

(1) 最初に住み着いた家の呼び名……………11

	クサワケとかシバキリと呼ぶ家	侍町と呼んでいた	
(2)	最初に住み着いたとされる家		12
三	ムラやマチの境		12
	川・堰・道路がムラやマチ境		
四	ムラやマチの役員		12
(1)	役員の種類		13
	地区代表者	副自治会長・会計	
		理事・幹事・協議員など	
(2)	役員の任期		14
(3)	役員の選出		15
	昔のやり方	選挙	
		推薦・選考	
		総会で承認	
		互選	
(4)	役員の仕事		17
五	ムラやマチの寄り合い		19
(1)	一年最初の集会		19
	一月一日に行う	一月に行う	
(2)	一年の最後の集会		21
六	ムラやマチの費用		21
(1)	呼び名		21
	区費—自治会費	区費	
		自治会費	
		賦課金・分担金・組費など	
(2)	区費の決め方		22
	等級(段階)がある	昔は等級、今は平均割り	
		等級の数が少なくなる	
		木の売却費や小作料	
(3)	自治会費の集め方		23
	個人が届ける	係が集める	
		特別な費用	
(4)	使い道		26

七	ムラやマチの仕事	27
(1)	仕事の呼び名	28
(2)	仕事の内容	28
	道路の改修維持管理 堰普請 山仕事 清掃・雪かき・火の用心など	
(3)	仕事に出ないとき	33
	呼び名 出不足を出す 出不足金の額 出不足は出さない 代理人を出す	
八	ムラやマチの財産	35
(1)	建物	36
(2)	建物の移り変わり	38
(3)	道具類	40
(4)	共有地	40
	山林 田畑 神社 公民館・集会場・墓地など	
(5)	ため池	43
九	ムラ入りやマチ入り	43
(1)	入る手続き	44
	自治会長に届ければよい 財産区に入会金を出す 集会所などを使う権利金を出す	
(2)	隣組入り	46
	手土産を持ってあいさつ回り 回覧板や会合のときに紹介	
(3)	分家の場合	47
	転入者より有利 分家も転入者と同じ	

第二節 ムラやマチの構成……………48

一 ムラやマチの内部区分……………48

(1) 隣組……………49

隣組で行うこと 隣組の組織 隣組の分け方 隣組は古い五人組が基礎 隣組をまとめて班(部)

(2) ムラをいくつかに大きく分けて呼び名をつける……………52

二 葬式組……………52

隣組で行う 隣組仲間で行う

三 頼母子講・無尽……………56

(1) 無尽講・頼母子講……………56

ムラにみられた無尽 マチにみられる無尽

第三節 年齢による集まり……………58

一 子供の仲間……………59

道祖神の祭り 天神講 どんど焼き 七夕行事 子供相撲・あくまっ払いなど

二 若者の仲間……………69

(1) 呼び名……………70

古い呼び名 青年会・青年団・処女会 お祭り青年 講

(2) 入退会の年齢……………70

入会の年齢 退会の年齢

(3) 活動内容……………72

祭りへの参加 学習活動 楽しみ ムラやマチの仕事の手伝い 資金集め お国のために

第四節 家……………80

一 相続……………80  
呼び名 相続する人 譲る時期

二 主婦の座……………81  
主婦が座を譲ることの呼び名 譲る時期

三 隠居……………82  
同居隠居 別居隠居 隠居はない

四 本家と分家……………83  
呼び名 つきあい 分家に出る人 同族の呼び名

## 第二章 人の一生

四つの節目……………89

第一節 婚姻……………89

一 結婚のきっかけ……………90  
仲人結婚 恋愛結婚

二 婚約……………92  
見合い 風呂敷 樽入れ(酒入れ) 結納

三 婚礼までの儀礼……………97  
荷送り 婿入り 見立て

## 四 嫁入り……

生家を出る 中宿ではオチツキの餅とお茶 入家儀礼 座敷に座るまで 杯ごと 里帰り  
近所、親戚への紹介

100

## 第二節 妊娠・出産……

## 一 妊娠したことを……

姑への知らせ いつごろ知らせるか 嫁の言葉 姑の言葉 子宝に恵まれるために

107

## 二 安産のために……

## (1) 出産前のまじないや、やったこと……

岩田帯 安産のお守り よく体を動かす お便所掃除の効験

110

## (2) 出産のときのまじないや、やったこと……

帯の間に小石 生卵を飲む・大根ひばの腰湯

112

## (3) 近くにある安産の神仏……

ムラの氏神様 北向観音・漆戸の子育観音

112

## 三 お産……

## (1) お産の場所・部屋・敷物……

初産は実家で

113

## (2) 手伝う人……

とりあげばあさん 産湯を沸かす

114

## (3) 産後の始末……

のちざん(後産) へその緒

115

## 四 誕生をまず第一に知らせた人……

夫・婚家・実家の両親

116

五	産婦が最初に口にしたもの………	117
	おかゆ・くず湯・ドーサン湯	
六	出生後の行事………	117
	産湯    産飯    産着    お七夜    サンシ（産婦のこと）の床上げ	
第三節 年齢に伴う儀礼………		
一	お宮参り………	122
	三十日前後    お宮参りのやり方    赤飯のふるまい    顔に印をつける    上田大神宮でのお宮参り	
	子育てのための神仏	
二	食い初め………	126
	食い初めが行われる日    膳をそろえる    口元へ、食べるまね    小石で歯固め	
三	誕生祝い………	128
	餅を背負わせる    箕の中に入れる	
四	七五三の祝い………	130
	氏神に参詣	
五	一人前………	131
	(1) 年齢による標準………	131
	大人の仲間入り    赤飯と背広・晴れ着で祝う	
	(2) 一人前の仕事量………	133
	ミツマタでの田起こし（男子）    田植え面積（男・女）    力仕事（男子）    機織り（女子）	
	巧みな技（男・女）	
六	厄年………	135
	厄除け・厄落とし	

七年祝い	136
還暦ほか	

第四節 死・喪	137
---------	-----

一 臨終	138
------	-----

死の兆し 魂呼び 死に水をとる

二 死者の扱い	139
---------	-----

目を落とした直後 枕団子・枕飯 通夜 湯灌 ニツカン(入棺)

三 葬送の準備	142
---------	-----

知らせ 葬具作り 穴掘り 料理方 帳付け

四 葬礼	145
------	-----

土葬時代の吊い 野辺送り 回り場で外引導 埋葬と野帰り 火葬 告別式 忌中法事

悔やみ念仏 特別な葬法 神葬祭

五 供養	151
------	-----

初七日と四十九 位牌分けと形見分け 年忌

### 執筆分担

表紙絵・挿絵

民俗調査協力員

話者

あながき

参考文献

上田市誌の編さん組織

表紙絵

一昔前を想定した上田市内の農山村風景

地模様

麻の葉模様 産着に用いられ出世柄といわれた